

主催：公益財団法人東松山文化まちづくり公社

演出・瀬戸山美咲



東京都出身。2001年、ミナモトを旗揚げ。現実の事象を通して、社会と人間の関係を描く。2016年、『彼らの敵』で第23回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。劇団外の活動に『埤もなく汚れなく』『始まりのアンティゴネ』（ともに作・演出）、『グリーンマイル』（上演台本・演出）など。世田谷パブリックシアターのワークショップなどコミュニティの人々をつくる演劇にも継続的に携わる。また、『アズミ・ハルコは行方不明』（監督：松居大悟）『リバーズ・エッジ』（監督：行定勲）などの映画脚本も手掛ける。また、2017年8月、バルテノン多摩にて多摩ニュータウンの各世代の住民の方の証言と市民ワークショップをもとに、『街』を描く演劇「たまたま」を上演。

～平成家族物語～  
舞台芸術によるまちづくりプロジェクト第1弾  
『東松山戯曲賞』優秀作品

# 枇杷の家

作・緑川有

## ◆あらすじ

風子（六十二歳・未亡人）は、異常にポジティブである。そのうえ、妄想癖までありそうだ。薫（六十二歳・独身。会社員だったが今は無職）は、やや斜にかまえた毒舌家。月子（五十八歳・独身。フリーランスのライター）は、恋に無縁だと悩みつつ常に冷静なタイプである。そんな三人が、庭に大きな枇杷の木がある一軒家を借り、シェアハウスとして暮らし始めて3年目を迎えている。

リビングでは、何かと理由をつけて宴会が始まる。酔いがまわると、三人のディープな本音が怒濤のごとく飛び交い絡み合う。アラ還の大人の女だからといって、古くからの友人だからといって、優しいわけでも、思いやり豊かなわけでもない。言いたい放題、むしろ、わがままである。言葉のバトルとささやかな癒しが交差する三人の日常である。

そんな中、薫はどうやらお付き合いを始めた男性がいるようだ。と、同時に風子にもそんな男性の存在が明らかになる。風子と薫がそれぞれ月子に語った“すらりと姿の良い素敵なおじさま”は、ビジュアルだけではなく、天才的な褒め言葉までそっくりだ。月子だけが知ってしまった危険な関係は、ある日、枇杷の家でドラマチックな結末に向かう。

# 朗読劇出演者募集

公演日：2019年3月24日（日）

公演回数：全2ステージ  
①11:00開演 ②15:00開演

公演場所：東松山市松山市民活動センターホール

稽古場所：東松山市総合会館1階多目的室

稽古日：2019年2月、3月の  
土日の昼～夕方（13:00～）

応募資格：50代～60代の女性の役を演じてみたい方  
60代～70代の男性の役を演じてみたい方  
舞台経験不問。未経験でも構いません。  
稽古・リハーサル・本番に必ず参加できる方  
東松山市外の方でもご応募可

募集人数：8名程度

応募方法：裏面の応募用紙に記入のうえ、郵送もしくは  
FAXにて、下記応募先までお申込みください。

応募〆切：2018年12月10日（月）必着

皆様の参加をお待ちしております!!

瀬戸山美咲氏による  
出演者オーディション

2019年1月19日（土）14:00～  
※多数の場合は、20日（日）14:00～も開催します。

会場：東松山市民文化センター  
（19日第1多目的室 20日リハーサル室）



お申込み・お問合せ

〒355-0017

公益財団法人東松山文化まちづくり公社 平成家族物語事務局

平日9:00～17:00 TEL 0493-24-6080 FAX 0493-24-9909

http://www.pac.or.jp e-mail:hfs@pac.or.jp

同時募集

～平成家族物語～舞台芸術によるまちづくりプロジェクト

《ボランティアスタッフ募集》

私たちと一緒に演劇制作に携わってみませんか？

主催／公益財団法人東松山文化まちづくり公社

共催／東松山市教育委員会

制作協力／彩の国さいたま芸術劇場

後援／埼玉県・埼玉県教育委員会・東松山市・埼玉県芸術文化振興財団・テレ玉・NHKさいたま放送局・FM NACK5・埼玉新聞社・朝日新聞社さいたま総局・共同通信社さいたま支局・産経新聞社さいたま総局・時事通信社さいたま支局・東京新聞さいたま支局・日本経済新聞社さいたま支局・毎日新聞社さいたま支局・読売新聞東京本社さいたま支局



～平成家族物語～  
舞台芸術によるまちづくりプロジェクト

